

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程本科	理容科	夜・通信	1050時間	160時間	
	美容科	夜・通信	1050時間	160時間	
専門課程上級学科（専攻科）	美容修得者理容科	夜・通信	810時間	80時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで授業科目一覧を公開 <https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで理事名簿を公開 <https://www.iwaterib.ac.jp/info/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	有限会社役員	2025.4.1～ 2028.3.31	法人運営に対する チェック機能
非常勤	株式会社役員	2025.4.1～ 2028.3.31	法人運営に対する チェック機能
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。また、作成においては学内会議により授業科目の設定・内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員により作成を行っている。 シラバスの公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、学生が閲覧できるようにしている。	
授業計画書の公表方法	https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 欠席が出席すべき時間数の、講義を伴う教科科目においては1/3, 実習を伴う教科科目にあつては1/5を超える者については卒業を認定しない。但し、この基準を超えた場合は十分な補習等を行った上で規定を満たすことで卒業を認める。国家試験学科科目と同様に及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。 実技形態の科目は実技試験を実施。学科科目と同様に及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。その他、選択科目については出席率、課題作業等に学修成果を評価し、成績判定を行っている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【客観的な指標の具体的な内容】 ・一年間を3学期に分けて授業展開し、各履修科目について1, 2学期は期末試験、一年次3学期は年度末試験、二年次3学期は卒業試験を実施している(100点満点) ・各試験における履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 (100点満点で点数化) 【客観的な指標の適切な実施状況】 上記の客観的な指標の算出方法により数値を算出して、成績分布状況の把握等を適切に実施している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPで成績および成績の分布状況を公開 https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校では人間力と技術力を兼ね備えた人材を育成するため、以下のような能力を身に付け所定の単位を修得した学生に卒業が認定されます。 1. 2年間のカリキュラム履修を通し職業人として将来の土台となる技術・接客を身に付けた者。 2. 衛生を重視する職業人としての自覚と認識を深め理容師・美容師として健全な社会生活を営むために必要な生活習慣と能力を身に付けた者。 3. 実習を通して理論と実践の一体化を図り理容師・美容師として実践的能力を身に付けた者。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPで成績および成績の分布状況を公開 https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校で閲覧できます
収支計算書又は損益計算書	学校で閲覧できます
財産目録	学校で閲覧できます
事業報告書	https://www.iwaterbi.ac.jp/info/index.html
監事による監査報告（書）	学校で閲覧できます

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010単位時間	600 単位時間		1410 単位時間		
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
16人		3人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。また、作成においては学内会議により、授業科目の設定・内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員により作成を行っている。 シラバスの公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。
成績評価の基準・方法
（概要） 【客観的な指標の具体的な内容】 ・1年間を3学期に分けて授業展開し、各履修科目について1, 2学期は期末試験、1年次3学期は年度末試験、2年次3学期は卒業試験を実施している。（100点満点） ・各試験における履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。（100点満点で点数化）

卒業・進級の認定基準	(概要) 本校の教育理念に則り、理容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を身に付けた者に卒業を認定する。具体的には本校の必修科目・選択課目のすべての単位を修得する。単位認定は出席率、成績評価に基づく。進級においても同様に判断する。
学修支援等	(概要) ■クラス担任制 教員がひとつのクラスを担当する担任制を整えています。 これにより学生一人ひとりの成長を把握し、必要なサポートを行います。 また、就職活動時にも学生の希望や適性に合った進路選択をサポートします。 ■長期欠席者の対応 ・本人、保護者への電話、文章による連絡 ・職業への理解と希望が持てるように指導 ・三者面談

卒業生数、進学率、就職率（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学率	就職率 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (%)	7人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 理容室			
（就職指導内容） 1年次にキャリアコンサルティング、就職セミナーを実施。2年次に就職ガイダンスを実施している。就職担当職員、クラス担任で連携をとり学生に必要な情報を提供して就職指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 令和6年度卒業生 理容師国家試験 筆記試験 受験者7名 合格者7名 実技試験 受験者7名 合格者7名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
クラス担任制による指導のほか、長期欠席者に対しての個別面談。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010単位時間	600 単位時間		1410 単位時間		
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110人		94人	0人	6人	10人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。また、作成においては学内会議により、授業科目の設定・内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員により作成を行っている。 シラバスの公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。
成績評価の基準・方法
（概要） 【客観的な指標の具体的な内容】 ・1年間を3学期に分けて授業展開し、各履修科目について1,2学期は期末試験、1年次3学期は年度末試験、2年次3学期は卒業試験を実施している。（100点満点） ・各試験における履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。（100点満点で点数化）
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校の教育理念に則り、理容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を身に付けた者に卒業を認定する。具体的には本校の必修科目・選択科目のすべての単位を修得する。単位認定は出席率、成績評価に基づく。進級においても同様に判断する。
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 教員がひとつのクラスを担当する担任制を整えています。 これにより学生一人ひとりの成長を把握し、必要なサポートを行います。 また、就職活動時にも学生の希望や適性に合った進路選択をサポートします。 ■長期欠席者の対応 ・本人、保護者への電話、文章による連絡 ・職業への理解と希望が持てるように指導 ・三者面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	1 人 (3.44%)	27 人 (93.10%)	1 人 (3.44%)
（主な就職、業界等） 美容室			
（就職指導内容） 1 年次にキャリアコンサルティング、就職セミナーを実施。2 年次に就職ガイダンスを実施している。就職担当職員、クラス担任で連携をとり学生に必要な情報を提供して就職指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 令和 6 年度卒業生 理容師国家試験 筆記試験 受験者 29 名 合格者 29 名 実技試験 受験者 29 名 合格者 29 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	4 人	5.19%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制による指導のほか、長期欠席者に対しての個別面談。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程上級 学科(専攻科)	美容修得者課程理容科				
修 業 年 限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1020単位時間	120 単位時間	単位時間	900 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
6人		1人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。また、作成においては学内会議により、授業科目の設定・内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員により作成を行っている。 シラバスの公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。
成績評価の基準・方法
（概要） 【客観的な指標の具体的な内容】 ・1年間を3学期に分けて授業展開し、各履修科目について1,2学期は期末試験、1年次3学期は卒業試験を実施している。（100点満点） ・各試験における履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。（100点満点で点数化）
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校の教育理念に則り、理容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を身に付けた者に卒業を認定する。具体的には本校の必修科目・選択科目のすべての単位を修得する。単位認定は出席率、成績評価に基づく。進級においても同様に判断する。
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 教員がひとつのクラスを担当する担任制を整えています。 これにより学生一人ひとりの成長を把握し、必要なサポートを行います。 また、就職活動時にも学生の希望や適性に合った進路選択をサポートします。 ■長期欠席者の対応 ・本人、保護者への電話、文章による連絡 ・職業への理解と希望が持てるように指導 ・三者面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 美容室			
（就職指導内容） 就職担当職員、クラス担任で連携をとり学生に必要な情報を提供して就職指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 令和 6 年度卒業生 理容師国家試験 筆記試験 受験者 2 名 合格者 2 名 実技試験 受験者 2 名 合格者 2 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制による指導のほか、長期欠席者に対しての個別面談。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	100,000 円	600,000 円	436,000 円	施設費 96,000 円 教材費 340,000 円
美容科	100,000 円	600,000 円	456,000 円	施設費 96,000 円 教材費 360,000 円
美容修得者 理容科	100,000 円	600,000 円	306,000 円	施設費 96,000 円 教材費 210,000 円
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待制度 A 特待 192,000 円減免 B 特待 96,000 円減免 C 特待 50,000 円減免				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について HP で公開 https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として関係企業場度を含む学校関係者委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 学校関係者評価委員数は企業等委員、卒業生などから 4 名以上とする。 評価内容は校長が中心となり学内会議にて次年度以降の改善に役立てている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容業 役員	2025. 5. 1～2028. 4. 30	企業
美容業 役員	2025. 5. 1～2028. 4. 30	企業
理容業 役員	2025. 5. 1～2028. 4. 30	企業
理容師	2025. 5. 1～2028. 4. 30	企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iwateribi.ac.jp
--

